

600兆円経済の実現に向けて

～「政策コメンテーターから寄せられた具体的提案例」～

平成28年3月11日

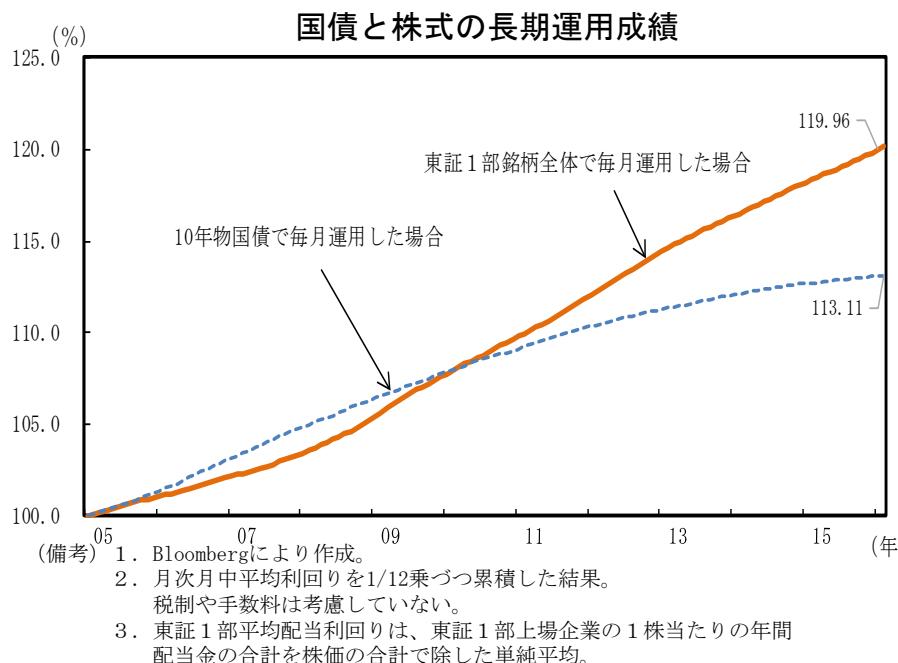
伊藤 元重

政策コメンテーター委員会 会長

◆ 600兆円経済の実現に向けた取組について、政策コメントーターから多くの具体的提案が寄せられた（配付資料参照）。例えば、以下のような提案。

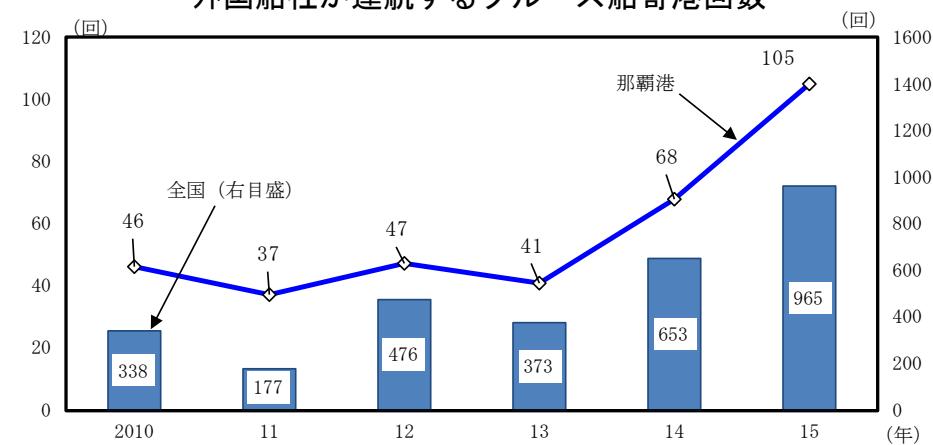
- マイナス金利導入に呼応して、NISA・ジュニアNISAの恒久化等も含めた利便性向上を通じて、「貯蓄から投資へ」を推進すべき。

例えば、2005年1月から国債と株式それぞれの累積投資パフォーマンスを比較をすると、10年後（2015年12月末）では国債（利子）運用が+13%に対し、株式（配当）運用は+20%の増加（キャピタルゲインを含めず）。



- 地域観光資源の活用拡大に向けインフラ整備を官民連携で推進。那覇港第2専用バースや他地域等、クルーズ船の寄港可能な港の整備が喫緊の課題。

外国船社が運航するクルーズ船寄港回数



（備考）：国土交通省「2015年のクルーズ船の寄港実績等について（速報値）」により作成。2015年は速報値。

那覇港では2015年以降過密等を理由に寄港の予約を断るケースの報道あり。クルーズ船用バースが1つしかなく、大型船の寄港や同日に複数の寄港申請がある場合は貨物船バースも併用中。石垣港や平良港では、貨物や砂・鉄くずを取り扱う岸壁でクルーズを受け入れ。

那覇港では新たなクルーズ船用バースの候補地を検討中。石垣港では2年後を目標として5万トン級までのクルーズ船の受け入れ岸壁を整備中。平良港では複合一貫輸送ターミナルを整備中。